

令和4年度 第2回 浜名小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年9月13日（火）14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜名小学校 多目的室
- 3 出席委員 加藤 弘明、平野 岳子、内山 益巳、竹内 佐織、野末 将平、
松島 一博、山下 哲彦、鈴木 智也、町田 幹子
- 4 欠席委員 内山 真也
- 5 オブザーバー 高林 寛司（相談役）、竹内 富一（相談役）、中道 三枝子（相談役）
笈田 幸恵（PTA 副会長）、井田 正人（浜名協働センター）、
- 6 学校支援コーディネーター 小松 昌代、鈴木 仁子
- 7 学校 山田 順子（校長）、鈴木 睦二（教頭）、高畠 美保（主幹教諭）、
柴田 素女枝（CSディレクター）
- 8 教育委員会 小川 真司（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 協議事項
 - (1) 「学校に関する調査の結果」について
 - (2) 各部会の現状課題について説明
 - (3) 部会別協議
 - 課題検討部（加藤、平野、竹内、小松）
 - 地域体験部（野末、山下、鈴木智、鈴木仁）
 - 学校支援部（町田、内山益、松島）
- 11 会議録作成者 CSディレクター 柴田 素女枝
- 12 会議記録

司会から、会長の加藤委員を議長に推挙する発言があり、全員異議なくこれを承認した。

議長から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 「学校に関する調査の結果」について

主幹教諭から別紙資料P3～P5に基づき「学校に関する調査の結果」について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・子供へのアンケートは、記名で行われたのか。（野末委員）
- ・無記名であれば、結果が変わっていた可能性もあるのでは。（野末委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 各部会の現状課題について説明

- 教頭から別紙資料 P2 に基づき課題検討部について説明があった。

① 発達支援教室・校内適応指導教室の現状の活用について

- ・ 地域の人だとさくらメールが使えないため募集は難しい。(町田委員)
- ・ 参加して知った事の守秘義務の問題もある。(小松コーディネーター)
- ・ 地域の人で経験した事のある先輩の方に入っていたら、理解していただけるのではないかと。人づてに探していくしかない。(野末委員)
- ・ ボランティアとして参加したいが、慎重にしなければならないのではないかと。安心して参加するためには、学校で基準・指針を決めてもらわなくてはならない。学校ではどのくらいかかわっているか。(内山益委員)

② 防災対応について

- ・ 子供たちに何も被害がなかったのが一番よかった。先日の対応から次回に生かしていくことが大切。今後、学校備蓄を考えていった方がいい。今後も起こるといふ準備、心構えが必要だ。(松島委員)
- ・ 何名が何時くらいまで残っていたのか。(内山益委員)
- ・ 起こったことの反省を生かしていくことが大切。市議会でも報告し生かしていく。(平野委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- 主幹教諭から別紙資料 P2 に基づき地域体験部について説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

- 教頭から別紙資料 P2 に基づき学校支援部について説明があった。

- ・ ボランティアを募集しても同じ人が、いろいろなボランティアに何回も参加して成り立っている。全員がボランティアに1年に1回は参加するような雰囲気になって欲しい。(町田委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 部会別協議

① 部会協議

3つの部会に分かれて熟議を行った。

- 課題検討部 (加藤、平野、竹内、小松)

発達支援教室・校内適応指導教室のボランティアについて
防災対応について

- 地域体験部 (野末、山下、鈴木智、鈴木仁)

本年度の活動について

●学校支援部（町田、内山益、松島）
ボランティア活動について

② 各部報告

● 課題検討部（平野委員）

- ・学校の現状、1室に2つの機能（不登校の児童と発達支援の児童）一度発達支援教室を見学し、どんな事ができるか考え活動につなげていく。
- ・学校備蓄は、一晩分として500mLの水のペットボトルと乾パンまたはそれに変わるものを袋に入れて児童のロッカーに置いておく方法ではどうか。

● 地域体験部（野末委員）

- ・明日、コスモスの種まきを行う予定である。
- ・学校の要望をはっきり明確にして欲しい。
- ・地域からこういう事ができる人のリストが学校側にあがるといい。
- ・子供たちの作品を地域に飾っていきたい。
- ・空いている花壇の活用として、地域の方に貸して野菜を作ってもらい収穫を子供たちとする。

● 学校支援部（町田委員）

- ・現PTA役員に聞いたところ、組織は変わってもやりやすさは変わっていないし、いやがっている現状は変わらないとのこと。
- ・ボランティアをやる良さがなかなか伝わっていかない。保護者は、1年に1回参加にしたらどうか。
- ・浜名家事支援の会（約90名）に、児童が帰宅した後のため保護者が参加しにくい就学時検査の手伝いなどを頼んでみる。
- ・地域の方に根ざしたボランティアの募集の方法を考えていかななくてはならない。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

教育総務課小川から別紙資料P10からP14に基づき学校運営協議会自己評価について説明と依頼があった。

また、来年度の学校運営協議会の委員の任期と交代の説明があった。

司会の教頭からも委員の任期について話があった。

次回第3回学校運営協議会は2月15日（水）に多目的室で開催する旨の報告があった。